



---

## 第70期 報告書

2016.3.1 ▶ 2017.2.28

株式会社 オンワードホールディングス

証券コード 8016



代表取締役会長 廣内 武



代表取締役社長 保元 道宣

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

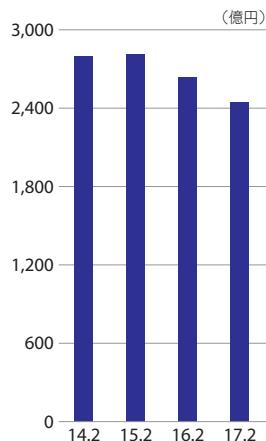
2017年2月28日をもちまして、第70期の事業年度を終了いたしました。ここに第70期報告書をお届けし、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、「人々の生活に潤いと彩りを与えるおしゃれの世界」を事業領域に定め、「ファッション」を生活文化として提案することによって新しい価値やライフスタイルを創造し、人々の豊かな生活づくりへ貢献することを経営理念としております。

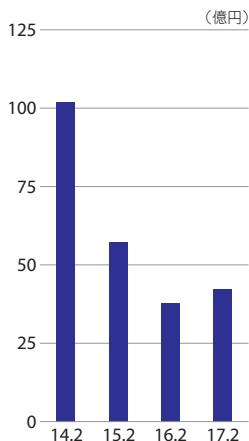
第70期より中期経営計画の実行に着手し、基幹ブランドの商品価値向上や顧客サービスの拡充による収益拡大をはかるとともに、Eコマースなどの高い収益性と成長性の見込める事業を強化いたしました。また、事業構造改革を実施し、事業・店舗等の整理や物流改革、組織改革を推進いたしました。

今後も、経営資源の選択と集中を進め、当社グループの体質強化と成長を実現してまいります。株主の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

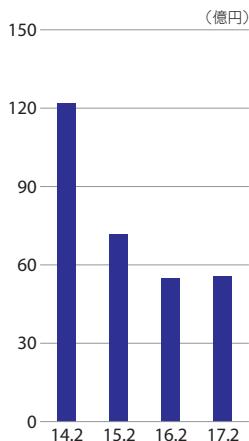
連結売上高



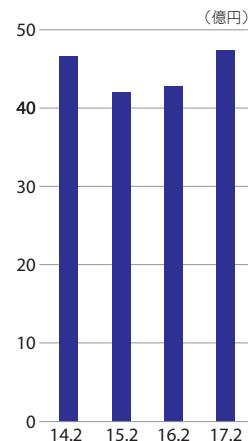
連結営業利益



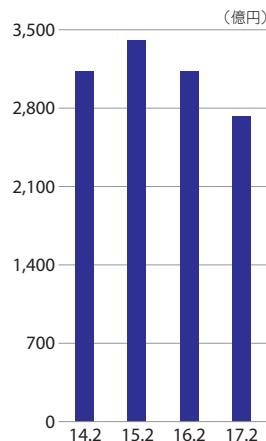
連結経常利益



親会社株主に帰属する  
当期純利益



連結総資産



(百万円)

	2014.2	2015.2	2016.2	2017.2
連結売上高	280,007	281,501	263,516	244,900
連結営業利益	10,200	5,731	3,778	4,203
連結経常利益	12,211	7,162	5,504	5,577
親会社株主に帰属する当期純利益	4,658	4,204	4,278	4,744
連結総資産	313,430	340,854	313,454	273,226
連結純資産	175,028	185,315	172,337	165,670
連結1株当たり当期純利益(円)	29.69	26.78	28.27	31.47

## 事業環境と業績全般について



「23区」

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に、企業収益や雇用環境に緩やかな改善が見られるものの、中国をはじめとする新興国の成長鈍化、欧州・中東における地政学的リスク、英国のEU離脱および米国の新政権への移行等により、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、個人消費の節約志向や慎重な購買行動に加え、インバウンド需要の減退が顕著になるなど、店頭の販売動向は総じて厳しい状況になりました。

このような経営環境のなか、当社グループは当連結会計年度を初年度とする中期経営計画の実行に着手し、基幹ブランドの商品価値向上や顧客サービスの拡充により安定的な収益の拡大をはかるとともに、Eコマースなどの高い収益性と成長が見込める事業を強化するなど、事業の選択と集中を推進いたしました。また、厳しい市場環境に対応する体質強化と成長戦略を実現するために、経営資源を成長事業にシフトする事業構造改革を行い、不採算ブランドの整理、不採算店舗の撤退ならびに物流改革・組織改革を推進いたしました。

### 第70期(2017年2月期)連結業績実績

売上高	2,449億円	(前期比 7.1%減)
営業利益	42億 3百万円	(前期比 11.3%増)
経常利益	55億 77百万円	(前期比 1.3%増)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	47億 44百万円	(前期比 10.9%増)

## 事業セグメント別の概況



「自由区」

### ■アパレル関連事業

国内事業は、夏場から秋口にかけての天候不順や、百貨店等の主流流通の衣料品売上が苦戦したことなどの影響を受けたものの、中核事業会社の株式会社オンワード樫山におきましては、主力ブランドのプロモーションの強化や、Eコマース向け企画商品の充実、オンワードクローゼットと店頭の在庫情報の一元化などの施策を推進し、一定の成果を得ることができました。

海外事業は、欧州地区は生産事業におきまして安定的な収益を確保することができました。アジアおよび北米地区は再編が進み、業績の改善がはかれました。



「23区GOLF」

## ■その他の事業

リゾート関連事業は、継続的かつ安定的な収益体質を築くことができ、業績も堅調に推移いたしました。サービス関連事業は、前連結会計年度にアクロストラנסポート株式会社の株式を譲渡したことが業績に影響いたしました。



オンワードビーチリゾートグアム



オルローージュサンブノア

## 次期の見通し



「ジル・サンダー」

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、欧州経済の先行きの不透明感、中国経済の減速や米国経済の今後の動向など懸念材料があるなか、引き続きデフレ脱却には時間を要することが予想されます。

また、当アパレル・ファッション業界につきましては、引き続きグローバル化、デジタル化が進み、競争が激化する厳しい状況が続くと思われまます。このような経営環境の

なか、当社グループは基幹事業の商品価値向上や顧客サービスの拡充により安定的な収益の拡大をはかるとともに、成長が見込める分野に向けた新規ビジネスの開発を進めてまいります。

国内事業は、株式会社オンワード樫山を中心に基幹事業の収益率向上をはかる一方で、新規事業領域の拡大に取り組んでまいります。

海外事業は、欧州の生産基盤を活かしたグローバル化とアジアの戦略的な拡大を推進することにより当社グループの成長性を高めてまいります。



「ジョゼフ」 マリルボーンハイストリート店

#### 第71期(2018年2月期)連結業績予想

売上高	2,393億円 (前期比 2.3%減)
営業利益	57億円 (前期比 35.6%増)
経常利益	71億円 (前期比 27.3%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	53億円 (前期比 11.7%増)



「五大陸」

## “美味しい!をコーディネート”上質・高感度な グルメECサイト「オンワード・マルシェ」オープン



上質・高感度なグルメライフスタイルECサイト「オンワード・マルシェ」

株式会社オンワードホールディングスは、2016年11月に、食を通じて豊かなライフスタイルを提案するグルメECサイト「オンワード・マルシェ」をスタートいたしました。

「オンワード・マルシェ」は、オンラインストアを通じてより多くのお客様に、美味しい、こだわりの食と器などを集めて販売する、上質・高感度なグルメライフスタイルECサイトです。

全国に広がる当社の営業ネットワークを活用し、その土地を知り尽くしたバイヤーが、直接産地に伺って、生産者と話をし、選りすぐった商品をラインアップ。まだ広く知られていない日本各地の逸品や、こだわりの品、さらには“これは美味しい!”と自信を持ってお届けできる品を集めております。クリエイティブディレクターには

「東京カレンダー」の編集に携わり、現在は有名グルメ雑誌の編集長を務める大西 健俊氏を起用。現地徹底取材をはじめ、お酒に合うつまみや食材に合う器などの組み合わせの提案や、食の専門家と食通のファッションистなど当社と関わりのある多数の著名人にキュレーターとして登場いただくなど、読み応え、食べ応えのある内容をお届けいたします。

取り扱いカテゴリーは、「お酒」「お米」「調味料」「おかず・おつまみ」「スイーツ」「水・飲料」「器・キッチン用品」の7種類でスタートし、さらに充実させていく予定です。

今後も提供価値の多様化を推進し、EC事業の成長を加速してまいります。



オンワードスタッフが直接生産者を訪ね、選りすぐった商品をラインアップ

# 日本初上陸となる「ジョーズ カフェ」併設 『ジョゼフ』国内最大規模の旗艦店「ギンザ シックス」に出店



「ジョゼフ ギンザ シックス店」のウィメンズコーナー

株式会社オンワード樫山は、2017年4月、ロンドン発のグローバルファッションブランド『ジョゼフ』において、日本初上陸となる「ジョーズ カフェ」を併設した国内最大規模の旗艦店を銀座エリア最大の商業施設「ギンザ シックス」にオープンいたしました。

「ジョゼフ ギンザ シックス店」は、『ジョゼフ』国内最大規模（300㎡）の旗艦店で、ショップコンセプトを、“MUSEUM HOUSE（美術館のようなクラブハウス）”とし、リラックスができ新しい感覚を養える、仕事帰りにちょっと寄りたくなる私的空間を提案いたします。

商品構成は、オリジナルのウィメンズラインとメンズラインの他、バッグやシューズなどのセレクトアイテム、ライフスタイル雑貨を展開いたします。

また、日本初上陸となる「ジョーズ カフェ」を併設し、季節の味わいを楽しめる紅茶や日本茶に合わせたケーキ類、焼き菓子等を提供するとともに、ゆっくりくつろいでいただけるようなブックスペースも設け、『ジョゼフ』の世界観を発信していきます。

新たな旗艦店により認知度を高め、グローバルブランドを強化してまいります。



「ジョーズ カフェ」

## KOKOBUYおよびInnovate Organics,取得により オーガニック化粧品分野へ本格参入

株式会社オンワードホールディングスは、オーガニックヘアケアおよびスキンケア製品を主体に展開するKOKOBUY社およびInnovate Organics,社の経営権を取得いたしました。

同社は、「真のオーガニック商品を世の中に送り出し、高い品質・価値の商品を手の届きやすい価格で顧客に提供する」とともに、「オーガニックやナチュラルをテーマにしたライフスタイルの提案」を行うことを事業コンセプトとし、取り扱いブランド「プロダクト」は、高感度なオーガニック志向の顧客層およびヘアスタイリスト等のプロフェッショナルから高い支持を得ております。

同社の事業コンセプトは、生活文化企業を標榜する当社の

理念と合致しており、オーガニック化粧品分野へ本格参入することによりライフスタイル領域の拡充を図り、提供価値の多様化と事業領域の拡大が期待できることから、今回の経営権の取得を決定いたしました。

今後は、メンバーシッププログラム「オンワードメンバーズ」との連動や、ECサイト「オンワード・クローゼット」での展開などを通じた顧客とのダイレクトコミュニケーションの強化を進めるとともに、当社グループ国内外のネットワークを活用した事業拡大を推進し、オーガニックやナチュラルをキーワードとした新しい価値やライフスタイルを提案してまいります。



オーガニックのヘアケア、スキンケアアイテムが揃う「プロダクト」



## 環境経営への取り組み

環境活動を経営施策のひとつに掲げ、地球と人々の共生をめざしたチャレンジを続けております。

### 「熊本地震復興支援 オンワード・グリーン・キャンペーン」 熊本市に熊本城災害復旧支援金として1,000万円を寄付 ご提供いただいた衣料品を中心に約10,000点を被災地へ寄贈



植松 浩二 熊本副市長に目録を贈呈する、  
オンワードホールディングス 保元 道宣 代表取締役社長

株式会社オンワードホールディングスは、熊本市に熊本城災害復旧支援金として1,000万円を寄付いたしました。2016年12月、保元 道宣 当社代表取締役社長、久我 彰登 株式会社鶴屋百貨店代表取締役社長、河野 雅 株式会社オンワード樺山福岡支店長が出席のもと、熊本市役所で贈呈式が開催され、オンワードホールディングスと鶴屋百貨店共同で開催した「熊本地震復興支援 オンワード・グリーン・キャンペーン」期間中の売上高の5%相当に

当たる1,000万円を植松 浩二 熊本副市長に贈呈いたしました。

また、同キャンペーンでご提供いただいた衣料品を中心に他の店舗等でお引き取りした衣料品を加えた中から状態の良いものを選別し、クリーニングを施した約10,000点を益城町の被災者の皆様に配布いたしました。

衣料品の寄贈はこの度の配布で累計約15,000点となり、今後も継続的に実施していく予定です。



オンワード樺山 福岡支店のメンバーが中心となり益城町の被災者の方々に衣料品を配布

連結貸借対照表

(百万円)

	前 期 2016年2月29日現在	当 期 2017年2月28日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	121,468	103,572
現金及び預金	29,407	26,096
受取手形及び売掛金	27,818	26,008
商品及び製品	36,162	34,143
原材料及び貯蔵品	5,276	3,981
仕掛品	1,331	2,091
繰延税金資産	4,704	3,270
その他の流動資産	17,603	8,477
貸倒引当金	△835	△497
<b>固定資産</b>	191,985	169,653
<b>有形固定資産</b>	106,695	92,268
建物及び構築物	31,520	29,188
機械装置及び運搬具	559	1,012
工具器具備品	6,091	5,161
土地	58,038	46,188
その他の有形固定資産	10,485	10,718
<b>無形固定資産</b>	23,436	25,805
ソフトウェア	5,770	5,478
のれん	15,652	18,522
その他の無形固定資産	2,014	1,804
<b>投資その他の資産</b>	61,853	51,579
投資有価証券	33,922	26,233
長期貸付金	2,276	2,225
長期前払費用	660	579
繰延税金資産	11,166	8,592
差入保証金	8,475	7,308
その他の投資	6,027	7,201
貸倒引当金	△675	△561
<b>資産合計</b>	313,454	273,226

(百万円)

	前 期 2016年2月29日現在	当 期 2017年2月28日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	106,109	85,684
支払手形及び買掛金	34,970	13,960
電子記録債務	—	17,947
短期借入金	45,326	23,531
1年内返済予定長期借入金	3,828	13,834
未払金	2,878	4,286
未払費用	6,903	3,862
未払法人税等	5,911	1,096
未払消費税等	921	1,867
賞与引当金	1,001	967
役員賞与引当金	184	181
返品調整引当金	303	304
ポイント引当金	435	574
その他の流動負債	3,444	3,267
<b>固定負債</b>	35,006	21,872
長期借入金	16,026	3,418
再評価に係る繰延税金負債	2,818	2,674
退職給付に係る負債	4,180	3,987
役員退職金引当金	150	166
預り保証金	1,049	1,042
その他の固定負債	10,783	10,581
<b>負債合計</b>	141,116	107,556
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	176,263	169,027
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	114,181	113,071
自己株式	△18,040	△24,167
<b>その他の包括利益累計額</b>	△6,508	△5,673
その他の有価証券評価差額金	1,118	323
繰延ヘッジ損益	△302	57
土地再評価差額金	△10,125	△6,923
為替換算調整勘定	3,777	528
退職給付に係る調整累計額	△975	340
<b>新株予約権</b>	843	779
<b>非支配株主持分</b>	1,738	1,537
<b>純資産合計</b>	172,337	165,670
<b>負債及び純資産合計</b>	313,454	273,226

## 連結損益計算書

(百万円)

	前期	当期
	2015年3月1日から 2016年2月29日まで	2016年3月1日から 2017年2月28日まで
売上高	263,516	244,900
売上原価	144,063	131,638
売上総利益	119,452	113,262
販売費及び一般管理費	115,674	109,059
営業利益	3,778	4,203
営業外収益	4,166	3,338
営業外費用	2,440	1,964
経常利益	5,504	5,577
特別利益	16,538	9,955
特別損失	14,912	4,552
税金等調整前当期純利益	7,130	10,980
法人税、住民税及び事業税	8,679	1,533
法人税等調整額	△5,811	4,705
当期純利益	4,262	4,740
非支配株主に帰属する当期純損失	15	3
親会社株主に帰属する当期純利益	4,278	4,744

## 連結株主資本等変動計算書(2016年3月1日から2017年2月28日まで)

(百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額						新株 予約権	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	30,079	50,043	114,181	△18,040	176,263	1,118	△302	△10,125	3,777	△975	△6,508	843	1,738	172,337
当期変動額														
剰余金の配当			△3,699		△3,699									△3,699
親会社株主に帰属 する当期純利益			4,744		4,744									4,744
自己株式の取得				△6,299	△6,299									△6,299
自己株式の処分			△106	171	65									65
土地再評価差額金の取崩			△2,047		△2,047									△2,047
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△794	360	3,202	△3,248	1,316	834	△64	△200	569
当期変動額合計	—	—	△1,109	△6,127	△7,236	△794	360	3,202	△3,248	1,316	834	△64	△200	△6,666
当期末残高	30,079	50,043	113,071	△24,167	169,027	323	57	△6,923	528	340	△5,673	779	1,537	165,670

会社の概要(2017年2月28日現在)

社名	<b>株式会社 オンワードホールディングス</b> ONWARD HOLDINGS CO., LTD.
設立	昭和22年9月4日
資本金	300億79百万円
事業内容	純粹持株会社としてのアパレル、サービス、リゾート関連事業を営む傘下関係会社の経営管理およびそれに附帯する業務
従業員数	43名(連結従業員数:4,456名)
所在地	東京都中央区日本橋三丁目10番5号
主要関係会社	株式会社オンワード樺山 オンワード商事株式会社 チャコット株式会社 株式会社クリエイティブヨーコ 株式会社アイランド* 株式会社オンワードグローバルファッション 株式会社オンワードクリエイティブセンター 株式会社オンワードライフデザインネットワーク 株式会社オーアンドケー オンワードラグジュアリーグループS.P.A. ジョゼフLTD. ジェイプレスINC. 恩瓦徳時尚貿易(中国)有限公司 オンワードビーチリゾートガムINC.

取締役および監査役(2017年5月25日現在)

代表取締役会長	廣内 武
代表取締役社長	保元道宣
取締役副社長	馬場昭典
専務取締役	吉沢正明
常務取締役	一瀬久幸
取締役	本庄八郎
取締役	中村嘉秀
常勤監査役	青山 仁
常勤監査役	飯塚賢一
監査役	矢部丈太郎
監査役	大橋一章

(注) 1. 取締役 本庄八郎、中村嘉秀の両氏は、社外取締役です。  
2. 監査役 矢部丈太郎、大橋一章の両氏は、社外監査役です。

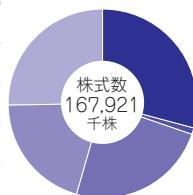
株式の状況(2017年2月28日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	167,921,669株
株主数	9,509名

(注)発行済株式の総数には、自己株式21,609千株が含まれております。

所有者別株式分布状況

金融機関	49,363千株	29.4%
証券会社	1,578	0.9
その他の法人	40,842	24.3
外国法人等	33,872	20.2
個人・その他	42,266	25.2



(注)個人・その他には、自己株式が含まれております。

大株主(上位10社)

株主名	持株数	持株比率
公益財団法人榎山奨学財団	8,710千株	5.9%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	6,539	4.4
BNYML-NON TREATY ACCOUNT	5,039	3.4
株式会社三越伊勢丹	5,001	3.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,701	3.2
日本生命保険相互会社	4,671	3.1
オンワードホールディングス取引先持株会	4,535	3.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,470	3.0
第一生命保険株式会社	4,200	2.8
株式会社丸井グループ	3,417	2.3

(注) 1. 当社は自己株式21,609千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

2. 持株比率は、自己株式21,609千株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	上場証券取引所	東京・名古屋証券取引所 市場第1部
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日	公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年5月中	公告掲載URL	<a href="http://www.onward-hd.co.jp/">http://www.onward-hd.co.jp/</a>
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)		



当冊子についてのお問い合わせ先

**株式会社 オンワードホールディングス**

〒103-8239 東京都中央区日本橋3-10-5

TEL.03-4512-1020



この報告書は環境に配慮した  
植物油インキを使用しています。